

第36回日本語教育連絡 会議会場: ヴィータウタス・マグヌス大学(リトアニア)

2023.8.24

8:00	受付・連絡事項	
8:30	蓮沼啓介	七福神再考
8:50	堀恵子	オンライン環境におけるデータ駆動型学習 (DDL)3年間のふり返り ーグループ活動を中心にー
9:10	蓮沼昭子	「ソウダ」と「ンダッテ」再考
9:30	いぬかいいて	ロシア語学習者ごんざの日本語音声教育 ー子音連続ー
9:50	Q&A	
10:00	休憩	
10:20	砂川有里子	日本語母語話者児童の作文に見られる叙法副詞の使用について
10:40	土屋千尋	夜間中学がなすべきこと
11:00	李在鎬	機械翻訳と言語教育
11:20	藤原史織、山下直子	地域の広報誌にみるカタカナ語 ー香川県広報誌「THEかがわ」を中心にー
11:40	Q&A	
11:50	昼食	
13:20	クンペシモナ、高木伽耶子	リトアニア人日本語学習者の自己紹介文に見られる特徴について
13:40	小熊 利江	ロシアとCIS諸国における日本語音声教育の意識調査
14:00	黒沢晶子	中世から近代の辞書に見る字音の消長 ー「言」ー
14:20	マダドナーめぐみ、関かおる、尾沼玄也、砂川有里子	てにをはプロジェクト ー語義の立て方並びに例文作成についての考察 ー
14:40	Q&A	
14:50	休憩	
15:10	ヨフコバ四位エレオノラ、稲葉和栄	教材分析から見える「受け身」教育の違い ーチェコ・ロシア・モンゴル・マレーシアを事例にー
15:30	藤野あゆみ	国連と言葉
15:50	若井誠二	日本語を教えてみたい人向けのガイドブック作成
16:10	金庭久美子	配慮表現としての「でしょうか」の使用状況
16:30	Q&A	
18:00	懇親会	

2023.8.25

8:30	奥野由紀子	何が主体的な学びのナッジになり得るか？ ーCLIL実践をふりかえってー
8:50	山森理恵	「共に生きる」ことにつながる短期プログラムを目指して
9:10	トリチコヴィッチ・ディヴナ、宮野谷のぞみ	学習者作文コーパスの教室活動における活用例
9:30	佐々木藍子	日本語学習者の接続助詞「～から」の発達過程における普遍性と可変性 ー12の母語の学習者データを対象にー
9:50	Q&A	
10:00	休憩	
10:20	山本冴里	未習言語のレアリアを解説する ーセルビア・ベトナムのカフェメニューを例に
10:40	村田 恵美	クロアチア語の可能形式 moćiの意味・用法と特徴 ー『見習い職人フラビッチの旅』の翻訳分析から ー
11:00	中野二郎	身体運動を用いた音声指導に関する考察 ーVT法の「緊張」の概念を用いてー
11:20	坂口昌子	アカデミックライティングにおける引用意識と成果物
11:40	黒沢晶子	中世から近代の辞書に見る字音の消長 ー「言」ー
12:00	Q&A	
12:15	全体会議	